

CISS

College of Interhuman Symbiotic Studies

関東学院大学
人間共生学部
mini letter



・共生デザイン学科

水辺の生きもの観察会 — 捕って食べて命に感謝しよう！ —

共生デザイン学科 二宮咲子先生のゼミナールでは、2014年度から大学と企業・行政等の社会連携による「公園づくりプロジェクト」に取り組んでいます。2019年8月17日（土）に神奈川県立相模三川公園で【水辺の生きもの観察会—捕って食べて命に感謝しよう！—】を開催しました。この自然体験教育イベントは、4年生の水野創太さんと中嶋壱成さんによる卒業研究テーマ「川の生きものを捕って食べる食育×環境教育プログラム開発」の一環として実施。学生は先行事例の調査や公園管理者との会議・現地見を何度も繰り返してプログラムを開発。使用機材の選定・手配、告知ポスターや竹竿に至るまで自ら制作しました。イベント当日は二宮ゼミ3・4年生を中心に、志ある1年生も加わって総勢15名がボランティアスタッフとして運営に協力。台風一過の青空の下、相模川で「捕って食べる」ために水辺の生きものの「命」に向き合う、参加者と学生たちのエネルギーに満ちた笑顔と真剣な眼差しがとても印象的でした。



今年もオープンキャンパスで学生カフェを開催しました！

コミュニティデザイン演習（日高 仁先生）は 授業の成果として、毎年オープンキャンパスでカフェを開催しています。演習を通じて学生達が空間デザインやメニューを企画し、全てを手作りします。3年目となる今年は、追浜の民家で収穫させていただいた梅の実を使った梅ジュースや梅ゼリー、フェアトレードの有機生豆を自分たちで焙煎したカフェラテ、ブラウニーや、神野由紀先生のゼミナールで企画し、地元のパン屋さん「TUMUGI BAKERY」で作っていただいたパン等をご提供して、ご好評をいただきました。



2019年度 夏期オーストラリア研修

8月24日～9月2日の11日間、5回目となるオーストラリア研修が実施されました。参加者は、1年生5名、2年生3名、4年生1名の計9名で、黒崎真由美教授が全日程引率しました。午前中は、広大な自然あふれるニューカッスル大学のキャンパスでの英語研修。午後は、オーストラリア文化研修。先住民のアボリジニの文化に触れたり、大きな卵を抱いているエミューのつがいも見たりました。とてもフレンドリーなホストファミリーは、今では第二の家族です。世界遺産のオペラハウス見学を最後に、帰国の途につきました。



授業風景



サンドボーディング体験



ホームステイ先での夕食

2019年 日越大学サマー・プログラム

8月18日～24日の一週間にわたり、ベトナム国家大学ハノイ校日越大学の短期プログラムに、本学から11名が楠勝範教授引率の下参加しました。グループで研究テーマを決め、ベトナム語やベトナムの社会についての講義を受けた後は、ハノイ市内、ドゥオンラム村、リサイクルセンターなど様々な場所を訪問しました。グループの課題研究を通じて、他大学やベトナムの学生と積極的に関わり、ベトナム語、英語、中国語、日本語が飛び交う異文化コミュニケーションを実践しました。最終日は、世界自然遺産ハロン湾にてクルーズに参加しました。



川内村かえるツアーに参加

9月に福島県川内村が主催した「かえるツアー」に松下ゼミ3・4年生の有志5名が参加しました。他大学の学生も含め12名となったこのツアーは、福島原発事故をきっかけに人口減少に拍車がかかった川内村が、広く若い世代に村の良さを知ってもらい、新しい発想で村を发展させたいと企画したものです。初日は、放射線の勉強と、海釣り体験、釣った魚の放射線量測定調査を行いました。夜は昼間釣った大ヒラメの刺身や村内の畑で採れた新鮮な野菜のバーベキューで盛り上がりしました。翌日は、草野心平ゆかりの天山文庫や阿武隈民芸館の見学、シイタケ栽培農家の見学と収穫体験などを行ったあと、副村長の講話を伺いました。その後、自分達が体験したことや講話の内容、村のさまざまなデータなどを基にしたグループワークと発表を行いました。



関東学院大学人間共生学部ミニレター VOL.18

発行：関東学院大学 人間共生学部

刊行：2019年9月30日(月)

Web：http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/

Facebook：https://www.facebook.com/InterhumanSymbiotic/

Twitter：KGU_Com@twitter.com (コミュニケーション学科)

